

偽通販サイトに登録したクレジットカード情報を不正利用される事案の増加について

インターネットを通じて物品販売を行うウェブサイト（いわゆる「通販サイト」）を利用する際に、住所、氏名等の個人情報とクレジットカード情報等を登録したところ、クレジットカードに、身に覚えのない請求を受けるといった事案が増加しています。

インターネットには、偽通販サイト（通販サイトを装って虚偽の商品情報に対する注文を受け付け、商品代金を騙し取ったり、個人情報やクレジットカード情報を騙し取る不正なサイト）が多数存在します。

偽通販サイト被害に遭わないために以下の点に注意するとともに、クレジットカードの不正利用に気付いた時には放置せず、早めの対応が必要です。

1 偽通販サイト被害に遭わないために

偽通販サイトあるある

サイトに使われる名称がバラバラ



偽通販サイトによく見られる特徴のひとつに、①検索結果に表示されるURL、②実際に表示されるサイトのURL、③店舗名、④連絡用メールアドレスなど、サイトに使用される名称がバラバラ、というものがあります。

2 身に覚えのない請求に気付いたら

(1) 本当に不正利用か確認する

正規にカードを利用した際にも、利用日付と請求日付が異なったり、利用した店舗名と支払先名が異なる場合があるので、過去の利用実態と照らし合わせて確認します。また、家族カードの利用等がないか、家族にも確認します。

(2) 不正利用されたときには

- カード会社に連絡して、クレジットカードの利用を停止します。
- パスワードを他のサイトにも使い回している場合はパスワードを変更します。（偽通販サイトではなく、他のサイトのパスワードを変更します）